

ONKAN インターネットセミナー 2023 第2回

2023年10月10日(火)～31日(火)

よりよい音楽の授業を実現するために、多様で多角的な視点から音楽や音楽教育について見つめ直し、新しい豊かな発想を開くセミナーです。

第2回は、国立音楽大学教授の津田正之先生による講演をオンデマンド動画配信で実施しました。

今、音楽の授業で大切にしたいこと
—音楽科教育の歴史、コロナ禍が提起したものを手がかりに—
講師：津田正之（国立音楽大学教授）

【講演内容】

- 1 音楽科教育の歴史と現行学習指導要領が提起したもの
- 2 コロナ禍が音楽の授業に提起したもの
- 3 今、音楽の授業で大切にしたいこと

指導と評価の一体化／主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業改善／音楽づくり・創作の学習指導面の充実／専門家等による情報発信の活用／生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と主体的に関わっていく学習の場の充実／など

【講演内容1】では、現行の学習指導要領が音楽科教育の理念と指導方法を変えるターニングポイントになっていること、【講演内容2】では、コロナ禍によって得られた教訓について言及されました。【講演内容3】では、指導と評価を充実するためには、児童生徒の学習が高まった姿を想定することが大切であるとして、子どもが理解を深めている姿、音楽表現の工夫における子どもの高まった姿などについて、具体例を挙げて話されました。最後に、GIGA スクール構想の視点から、様々な情報の活用ということで、授業に役立つ映像やコンテンツについてご紹介いただきました。

【アンケートより】

- ・学習指導要領の変遷からの現行学習指導要領の趣旨がよく理解できた。
- ・音楽を学ぶことの意味や価値、豊かさの実感が大切だと改めて感じた。
- ・たてまえ主義からの脱却、そしてICTの活用＝教師の授業力ではない、ということが強く印象に残りました。
- ・音楽科教育の歴史的な背景、コロナ禍における様々な対応などから見てきた今後の音楽科教育のあり方について考える契機となりました。